

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南百済小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東住吉区
学 校 名	大阪市立南百済小学校
学 校 長 名	二俣 峰雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立南百済小学校では、第6学年 68名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南百済小学校の結果概要

本校の平均正答率は、国語が58%（全国公立60.9%）、算数が52%（全国公立56.4%）となり、ともに全国平均をやや下回る結果となった。

国語では、文章を読み取って自分の考えを書く問題などで成果が見られた一方、相手や目的に応じた文章構成や漢字の定着に課題が残った。算数では、基本的な計算や体積の求め方などの定着が見られる一方、図形の性質の理解やデータの活用・変化の捉え方に課題が見られた。児童質問紙からは、学校生活への高い満足感や肯定感が見られるものの、自主的な学習方法の工夫に伸びしろが見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

文章の内容を正確に捉える「読むこと」の領域で正答率73.5%（全国65.9%）と高い成果を示した。特に、目的に合わせて必要な情報を見付ける問題（57.4%/全国55.5%）や、文章を読んで自分の経験と結び付けて考えを書く記述問題（89.7%/全国76.4%）で全国平均を大きく上回った。文章の概要を捉え、自分の言葉で表現する力が育っていることがうかがえる。一方、文章の組み立てや表現を工夫する「書くこと」の領域（39.7%/全国45.7%）に課題がある。集めた情報を引用して考えが伝わるように書く問題（25.0%/全国33.5%）で伸び悩んだ。また、文脈の中で正しい漢字を書く問題で「ふしぎ」の書き取りが（26.5%/全国45.2%）にとどまるなど、言葉の知識や漢字を正しく使う「知識・技能」の確実な定着が今後の課題である。

【算数】

整数や小数のひき算（60.3%/全国58.1%）や条件に合う小数をつくる問題（97.1%/全国94.5%）の問いで高い正答率となった。また、領域別でみると、基本的な計算手順や公式の理解、単位の意味などの基礎・基本については多くの児童にしっかりと定着していることが確認できる。一方、「図形」（44.5%/全国55.3%）や「変化と関係」（33.3%/全国41.1%）の領域で課題が見られる。具体的には、二次元の複雑な表から条件に合う人数を読み取る問題（10.3%/全国17.9%）や混み具合を表す式の意味を選択する問題（22.1%/36.1%）、分数の大小を判断して理由を説明する記述問題（35.3%/44.0%）で正答率が低かった。情報を整理する判断力、理由を言葉や数式で説明する思考力・表現力の育成が必要である。

質問調査より

「先生は自分の良いところを認めてくれている」と答えた児童が（98.5%/全国85.6%）に達するなど、学校や教職員に対する強い安心感と高い自己肯定感が示された。この良好な人間関係と精神的な安定が、国語の記述問題などで最後まであきらめずに解答を書こうとする姿勢（無解答率の低さ）につながっていると分析できる。一方、「自分に合った勉強法を工夫しているか」や計画的な家庭学習の実施に関しては改善の余地が見られる。算数の「二次元の表の読み取り」や「理由の説明」、国語の「引用を用いた文章作成」など、工夫して粘り強く課題を解決する問題で苦戦した背景には、自ら学びを組み立てる自主的な学習習慣の不足が影響していると考えられる。

今後の取組（アクションプラン）

1.言葉や図・式を使って「説明する活動」の充実

国語の「記述力」と算数の「思考・表現力」をともに高めるため、授業の中で「なぜその答えになったのか」の理由や考え方の筋道を、言葉や図・式を用いて友だちに説明し合う場面を意図的に作成する。

2.基礎・基本の確実な定着と苦手領域の補強

朝の学習時間やタブレット端末を活用して、漢字の読み書きの反復練習を行う。また、算数の「図形」や「表・グラフの読み取り」などつまづきやすい単位では、具象物や視覚的資料を使い、概念の丁寧な再確認を行う。

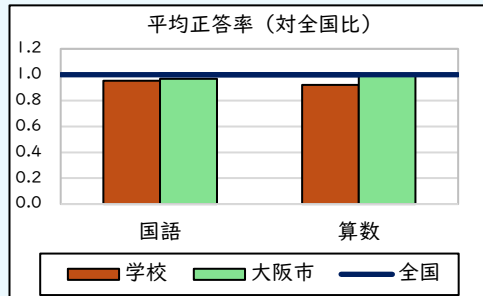
3.自主的な学習を促す家庭との連携

自分に合った振り返りやノート作りの工夫を授業内で指導するとともに、ご家庭と協力して計画的に学習を進める習慣づくりを支援し、自ら学ぶ力を育てていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

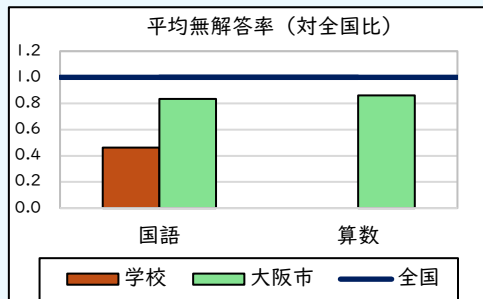
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	52
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



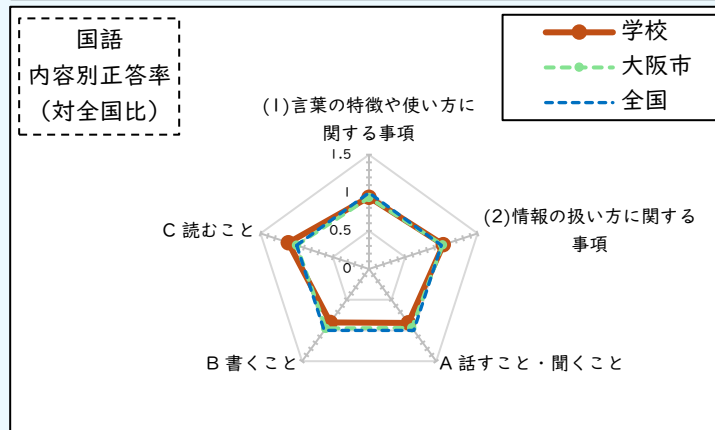
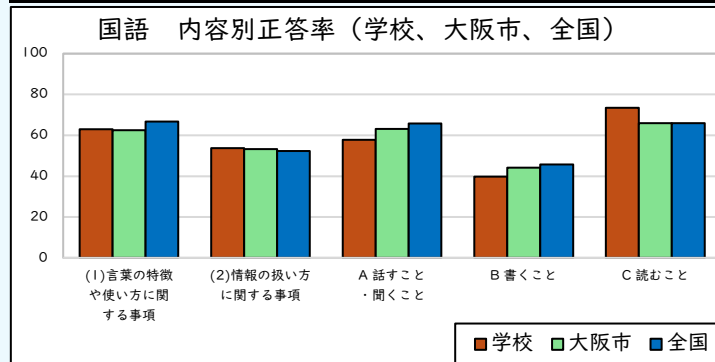
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.6	0.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



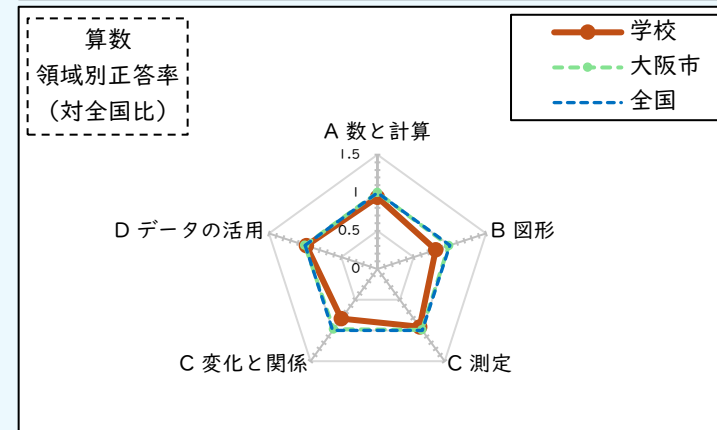
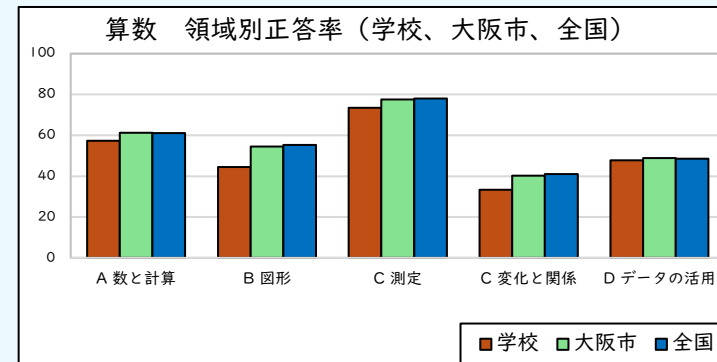
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	62.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	53.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	57.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	39.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	73.5	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	57.4	61.2	61.1
B 図形	4	44.5	54.5	55.3
C 測定	1	73.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	33.3	40.3	41.1
D データの活用	4	47.8	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

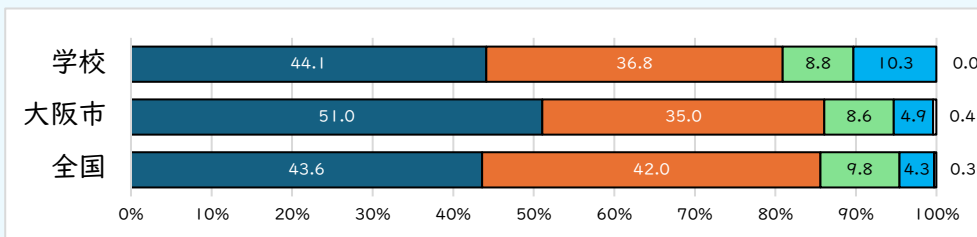
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

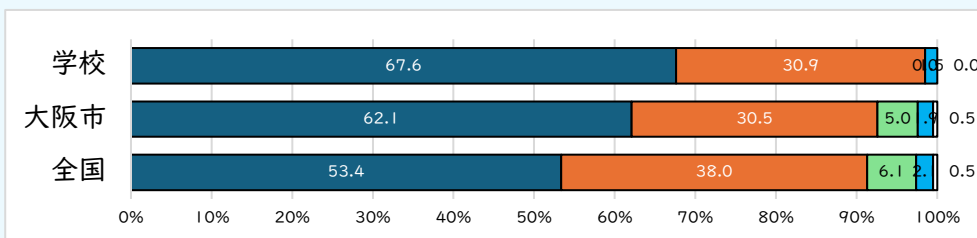
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



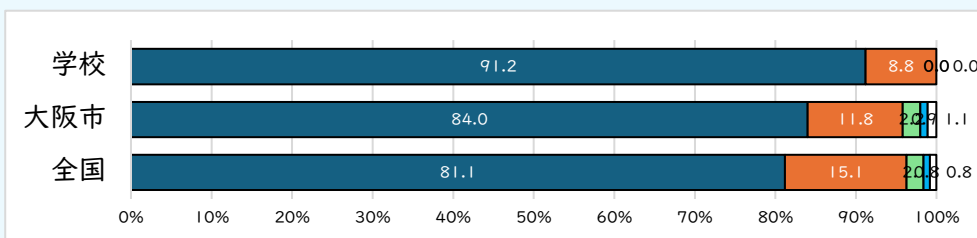
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
-----	------------------------------



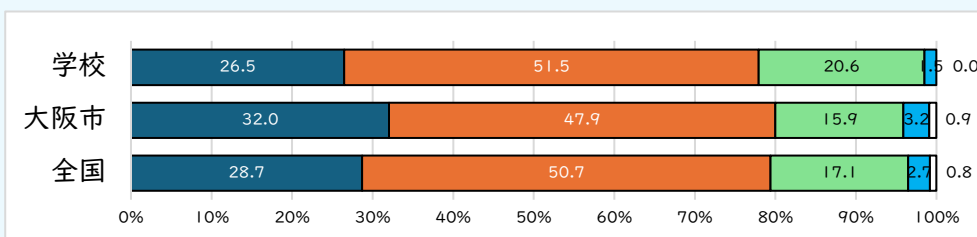
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



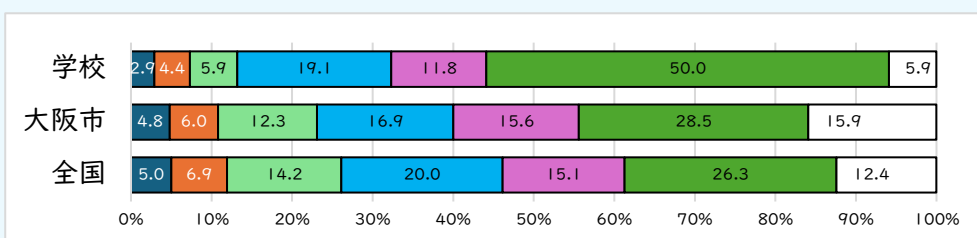
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(22)	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
------	--



- 1 できている
- 2 どちらかといえば、できている
- 3 どちらかといえば、できていない
- 4 できていない

(26)	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
------	--



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

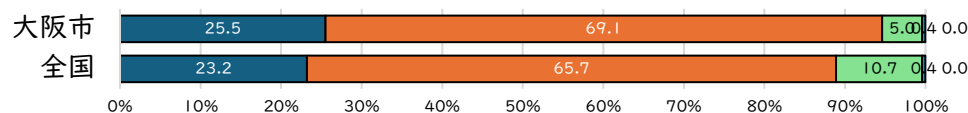
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

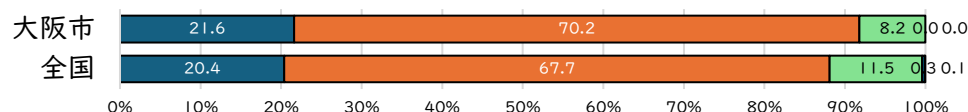


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

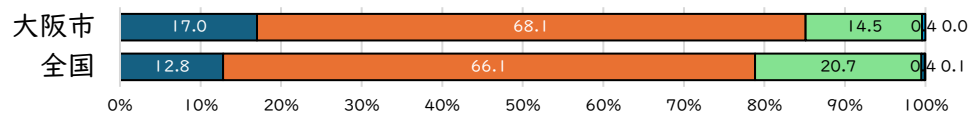


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(27)

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

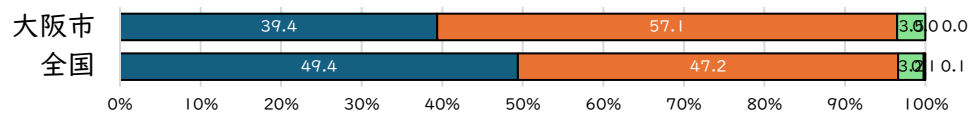


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(81)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

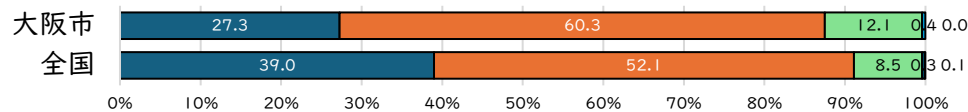


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(82)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった